

平成29年度 受保連 総会シンポジウム

医療イノベーションの受益と負担を考える

● プログラム構成 ●

1. オープニング

最近の報道などに思うこと： 榎原靖夫 理事

2. 講演セッション

座長：村上 晶 先生（順天堂大学）

(1) 医療政策や研究開発を支える意義とは

- ・ テーマ：難病対策の政策動向について
- ・ 講師：田中 彰子 先生（厚生労働省）
（コメンテータ：宮崎 詩子 氏）

(2) 医療技術の臨床経済的な価値評価とは

- ・ テーマ：難治性ネフローゼ症候群に対する分子標的薬の価値について
- ・ 講師：田倉 智之 先生（東京大学）
（コメンテータ：西田 博 氏）

(3) 社会貢献が期待される診療システムとは

- ・ テーマ：腎移植医療の社会経済的な意義について
- ・ 講師：相川 厚 先生（東邦大学）
（コメンテータ：山田 隆司 氏）

(4) 総合討論

- ・ 話題提供：現役世代の目線、命を支えているもの（鈴木 敦秋 先生）

3. クロージング

患者・家族として気づいたこと： 斎藤幸枝 理事



● 日時

平成29年8月26日（土）14時15分～16時15分
（開場：14時00分） ※資料代は1千円です

● 会場

AP東京丸の内

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目1-3
日本生命丸の内ガーデンタワー3階 BCルーム

<https://www.tc-forum.co.jp/kanto-area/ap-marunouchi/ma-base/>



主催：一般社団法人受療者医療保険学術連合会（TEL: 03-6869-6581）